

農 研 速 報

平成 23 年 9 月 6 日 発行
茨城県農業総合センター農業研究所
〒311-4203 茨城県水戸市上国井町 3402
Tel 029-239-7211 Fax 029-239-7306

作物名（大豆）

県 名	生育ステージ		生育の状況	これまでに講じた対策 及び今後の方針
	本 年	平年対比		
茨 城 県 (水戸市)	タチナガハ 莢伸長期～ 粒肥大期	やや遅い	<p>8 月は、平均気温が平年に比べ 0.2℃低く、日照時間は平年比 101%であり、降水量は平年比 144%と多かった（水戸地方気象台観測値。平年値は直近 5 ヶ年の平均値）。</p> <p>開花期は、タチナガハが平年より 1 日早く、納豆小粒は平年より 2 日遅かった。</p> <p>生育は、タチナガハで主茎長が平年より短く、納豆小粒では主茎節数が多いが分枝数が少ない。地上部生体重は、両品種とも平年比約 85%である。</p> <p>着莢の状況は、タチナガハで一株莢数が平年よりやや多いが、一株莢重・一莢重が平年より約 40%少ない。納豆小粒では、一株莢数が平年比 67%と少ないが、これは開花期前（7 月下旬～8 月上旬）の平均気温が低かったことが影響していると推測される。一株莢重・一莢重は、平年比でそれぞれ 24%、34%と少ない。</p> <p>8 月第 4～第 5 半旬の降雨により、納豆小粒で倒伏が発生している。</p>	<p>・紫斑病・莢害虫の防除を実施した。（8 月 12 日、18 日、26 日）</p> <p>・カメムシ類、シロイチモジマダラメイガ等の莢害虫やハスモンヨトウを適宜防除する。</p>
	納豆小粒 莢伸長期～ 粒肥大期	やや遅い		

表 生育調査(播種後70日、8月29日調査)

品 種	開花期			主茎長			主茎節数			分枝数			茎の太さ		
	本年 (月日)	前年差 (月日)	平年差 (月日)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (節)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (mm)	前年比 (%)	平年比 (%)
タチナガハ	7月31日	1 7月30日	△1 8月1日	48	86 (56)	86 (56)	13.5	113 (12.0)	102 (13.2)	4.45	97 (4.60)	98 (4.52)	10.3	110 (9.4)	108 (9.5)
納豆小粒	8月11日	1 8月10日	2 8月9日	74	90 (82)	99 (75)	18.7	107 (17.5)	112 (16.7)	4.70	73 (6.40)	73 (6.44)	9.2	101 (9.1)	101 (9.1)

品 種	地上部生体重			一株莢数			一株莢重			一莢重		
	本年 (g/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (莢/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g/株)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g/莢)	前年比 (%)	平年比 (%)
タチナガハ	180	76 (236)	83 (218)	70	94 (75)	108 (65)	30	54 (56)	60 (50)	0.43	58 (0.74)	55 (0.77)
納豆小粒	191	76 (251)	84 (229)	123	52 (237)	67 (185)	6	26 (23)	24 (25)	0.05	49 (0.10)	34 (0.14)

試験場所は水戸市農業研究所内畑圃場(表層腐植質黒ボク土)。

平年値は平成18年～22年(5ヵ年分)のデータの平均値。

茎の太さは第1節(子葉節)と第2節(初生葉節)の節間で測定。

平年差の△は平年より早いことを示す。

耕種概要:6月20日播種、11.1株/㎡(畦間60cm×15cm)1本立て、施肥量: N-P₂O₅-K₂O : 0.3-1.0-1.0kg/a

農研所内圃場における生育状況(8月29日撮影)

播種日:6月20日 栽植密度:11.1株/m²(畦間60cm 株間15cm)1本立て 施肥量(kg/a):N-P₂O₅-K₂O=0.3-1.0-1.0



タチナガハ



納豆小粒